

米国パックスクリスティ事務局長様

2013年2月22日安倍晋三総理大臣とオバマ米国大統領の会見にあわせて、日本の憲法9条を守るため、ぜひ協働をお願いいたします。

日本では昨年12月の選挙によって、自由民主党安倍政権が復活しました。安倍首相は憲法を改正することを公約し、それが民意の賛同を得たと考えています。そして日本政府は憲法9条を変える準備を着々と進め、「戦争への加担、協力」から、自ら「戦争をする国」へと変貌しています。

皆様もご存知のように日本国憲法9条は以下のような崇高な理念を謳っています。

「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」。

わたしたちは、日本政府による現在の動きが、米国の「世界的国防態勢の見直し」と直結していると考えています。日本は、東欧から中東、インド、東アジアにいたる「不安定な弧」における軍備態勢の確立を支え、協力しています。アジア・太平洋地域では「朝鮮戦争以来最大」の大規模な米軍再編が行われ、これによって日本がミサイル防衛体制、反テロ体制、破壊作戦、情報収集、大量破壊兵器整備に全面的参加を実現し、日米新ガイドラインに基づき、自衛隊と米軍の一体化によって、米軍が日本国内の港湾、空港、道路、水路、空路、電波網をコントロールし、自由に使用することができるようになっていきます。

このような危機的現状に対して、わたしたちは米国パックスクリスティが、貴国の政府に以下の呼びかけをして頂きたくお願いするものであります。それは平和は決して軍事力では実現しないこと、忍耐深い対話と多様性に関いた対話のみが、正義、平等と相互の尊敬をもたらすことを信じているからです。

憲法9条を廃止すれば、アジア諸国、特に中国の軍事的緊張を高める危険があり、中国、南北コリア、環太平洋諸国の軍事を増強させる結果になる。

憲法9条を廃止すれば、日本が核兵器をもつ可能性が生まれ、世界的に核兵器廃止に向けて進めて来た歩みに逆行する。

米国政府が、その編纂に深く関与した平和憲法は、日本国民の多くに支持されています。それは、憲法9条の意味する非暴力の国の在り方に賛同しているからです。

2月22日にパックスクリスティ米国が、ホワイトハウス前での行動を計画していることを知りました。皆様方の非暴力へのコミットメントと連帯に心から感謝いたします。

谷大二

さいたま教区教区長

カトリック正義と平和協議会会長